



日本共産党区議会議員
みやざき かつとし
俊克

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

2007年6月24日 No.578



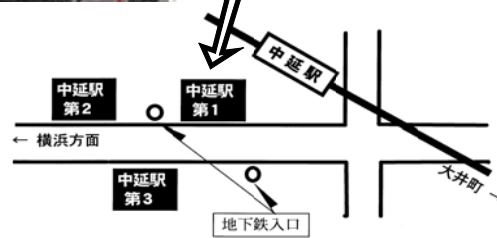
エレベーター設置で駐輪場258台分廃止

中延駅
周辺

駐輪施設が必要です



廃止される
地下鉄中延
駅第一区営
駐輪場。



駅前にはたくさんの自転車が「放置」されています。駐輪対策は必要です。

地下鉄中延駅近くの「第一区営駐輪場(中延4丁目)」が3月11日に廃止されました。同駅周辺の区営駐輪場3ヶ所のうちの1ヶ所で、地下鉄利用者のためのエレベーターを設置するためです。区は代替の駐輪場は必要ないといいますが駅周辺の「放置」自転車対策が必要です。

地下鉄中延駅へのエレベーター設置は高齢者や障害者はじめ住民の強い願いです。ようやく実現することになりました。

しかし、廃止される駐輪場は定期で自転車が258台分、バイクが10台分です。代替の駐輪場について、区は「残る第二、第三駐輪場で十分」といいますが駅周辺には「放置」された自転車とバイクがあふれています。

また、豊町に住む70歳の女性は「シルバーで働いており中延駅まで自転車を利用している。今の駐輪場は遠いので近くにほしい」と、駅近くに駐輪場を確保してほしいと話します。

「放置」自転車対策は近隣に駐輪場が必要です。私は、エレベーターを設置した残りのスペースを再び駐輪場にするを含め対策を求めています。

共産党区議団への監査請求を棄却！ 「不正なかつた」と認められました。

3名の区民が日本共産党品川区議団の政調費の使途に監査請求していた問題で6月8日、区監査委員は「請求棄却」としました。日本共産党の政調費に不正が無かつたことを監査委員が認めたものであり、当然です。
しかし、監査結果には日本共産党のイメージダウンを狙った意図的な「意見」が記載されていました。

監査請求を、選挙で 公明党が共産党攻撃 に使用しました

監査請求書で請求人が「目的外支出」と主張したのは、①日本共産党区議団が予算・決算議会前におこなった合宿が「単なる温泉旅行とも考えられる」、②共産党発行の雑誌は「必ずしも品川区の事務、地方行財政に関する調査研究に必要な図書・資料とはいえない」、③党区議団の宣伝カーが「政治活動等にも使用されている」、④控室の事務局員は「調査研究補助業務

政治的な「意見」を持 ち込んだ監査結果

推測による「疑惑」の監査請求を棄却したのは当然です。
しかし、監査結果に付された「意見」は大きな問題があります。例えば、①宣伝カーの管理が「不適切だつたとも考えられる」、②合宿について「遠隔地での合宿方式による研修は：(中略)：不要な支出であつたとも考えられる」、③(共産党発行の「議会と自治体」誌について)「不要な支出であつたとも考えられる」などの記述で、あたかも共産党の政調費に問題があるかのような印象を与えるものになつていくことです。
意見は「政調費の使途基準」に合致しているのかどうかという基準から明らかにはずれた「私見」といふべきものです。
しかも、このような「意見」は自民党と公明党の監査結果にはなく、共産党だけに付けられたものです。明らかに共産党のイ

のみならず、それ以外の業務も行つていると考えられる」などというもの。しかし、事実に基づく「目的外使用」の立証はありません。推測で「疑惑」を描き出すようにしています。マスコミは2紙が報道したものの事実経過を伝えただけでした。記事も小さい扱いで、マスコミもまともに相手にしませんでした。
ところが、区議会議員選挙になると、品川区以外で公明党が「品川の共産党が政調費を不正に使用」と大々的に宣伝。監査請求が日本共産党攻撃という政治的に使われました。

メージダウンを狙つた政治的、不当な意見だと言わなければなりません。

共産党は海外調査など税金の無駄遣いをやめさせます

自民党は飲食など3千万円余、区民連合(民主党)と公明党もスパイ小説やDVD、スナックでの飲食など不正使用を認めて政調費を返還しました。

日本共産党は不正使用は一切なし。93年に政調費の全面公開を提案し実現。昨年は飲食禁止で議会改革をリードしてきました。今後も①政調費不正使用の真相解明、②議会の活性化、③政調費支給基準の見直し、④出会手当の廃止、⑤海外調査の中止へ全力でがんばります。

無料
法律相談は

7月20日(金) Pm 6:30

みやざき克俊事務所

